



# ひゅーまんらいつ

第111号 平成22(2010)年

人権情報センターに、新しい **DVD・書籍** が加わりました。

部落の心を伝えたいシリーズ

## あすなろを生きる ～ 野上 早苗 ～



40年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙します。あすなろ解放学級で20年以上にわたり代表を務める野上早苗さん。

20歳の時に受けた結婚差別が解放運動へのめざめとなりました。若い母親たちも次々と仲間に加わり始めました。願いはひとつ、「何のためらいもなく子どもたちに故郷を名のらせたい」と...

部落差別から出発し、今ここにある様々な人権問題と向き合います。差別は突然やってきます。その時、どう行動するか、一人ひとりに問われています。

部落の心を伝えたいシリーズ ～ も揃えています。

## ～ 書籍の紹介 ～

- 「へこたれへん 差別はきつとなくせる」 松村智弘 / 著
- 「差別のカラクリ」 奥田均 / 著
- 「全国のあいつぐ差別事件(2009年度版)」
- 「13歳から学ぶ日本の貧困」 宇都宮健児 / 著
- 「くろくとなぞのおばけ」 なかやみわ / 著
- 「おこのみやき」 ひぐちともこ / 著

その他、多数加わりました。



## ～ 月刊誌の紹介 ～

人権情報センターでは、月刊誌を揃えております。こちらにも貸出していますので、ぜひご利用ください。



『人権と社会』・・・さまざまな人権問題についての新聞記事を集めたクリップ集です。  
『解放教育』『部落解放』『Human Rights』

## 誰でも人権アカデミー 特別講座

# 「ありのままのわたしを生きる」土肥いつきさん 講演会を終えて…

セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表の土肥さんをお招きし、お話を伺いました。

「セクシュアリティ」のこと、ご自身の生き方などを通して、「人として生きるとはどういうことか」を深く考えさせられました。



### ～ 参加された方より ～

- ・ 今回のお話を聞いて、性に関する考え方ががらりと変わりました。今まで男だ女だと区切って考えてきたところがかかなりありました。私は小さいころから男まさりで、考え方や外見が女性なのか？男だったらな、などと思うことがありました。これからは、そんなことは気にせず、ありのままの自分も大事にできるようにと考えられるようになりました。
- ・ 「男」と単純に考えていた自分を見つめ直す必要がある、もっと自分を知ることの大切さを怠っていた自分に気づかされました。
- ・ 自分のまわりの誰かとしっかりと向き合って「生きる」ことを丁寧につなげていきたいと思いました。
- ・ 人間って一人ひとり違っていることが、やっぱり素晴らしいなと思いました。同じことを求めることが、差別や苦しみを生んでいるような気がします。



今年度の誰でも人権アカデミーは終了いたしました。  
一年間ありがとうございました。  
来年度も引き続き開催いたしますので、ぜひご参加ください。

平成21年度鳥取県人権協働ネットワーク「ミニシンポジウム」実施事業（鳥取県委託事業）/とっとり県民カレッジ連携講座

## 拉致問題を考えるシンポジウム

～すべての拉致被害者の一刻も早い帰国実現をめざして



◆ 日時 **3月22日(月・振替休日)**  
**13:30～17:00(13:00開場)**

◆ 場所 **米子コンベンションセンター 小ホール**

基調講演：平沼赳夫氏

(衆議院議員・北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟会長)

拉致被害者ご家族メッセージ：松本孟氏

(1977年10月鳥取県で拉致された松本京子さんの兄)

パネルディスカッション

コーディネーター：西岡力氏(北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長代行)

パネリスト：佐伯浩明氏(フジサンケイビジネスアイ編集企画員)

増元照明氏(北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長)

今岡祐一氏(北朝鮮に拉致された日本人を救出するための鳥取の会会長)

申し込みは不要・入場無料です。みなさんのご参加をお待ちしています。

お問合せは、実行委員会事務局(090-6842-2514/担当：木村)までお願いします。

米子市人権情報センター

〒683-8686 米子市東町161-2

0859-37-3183 Fax 0859-37-3184

E-mail [humanr@ruby.ocn.ne.jp](mailto:humanr@ruby.ocn.ne.jp)

URL:<http://www.yonago-city.jp/jinken/index.htm>

